

# リンゴ産業をモデルとした大学COC拠点整備事業

赤い果肉リンゴを核とした地域活性化

## キックオフセミナー

このたび、弘前大学では、リンゴ「ふじ」の発祥の地で育成された赤い果肉のリンゴ新品種「紅の夢」等の活用研究を推進し、これを地域活性化の起爆剤として新たな産業を開拓し、大学が地域活性化の中核的拠点(COC)として、地域への成果普及を図るために、キックオフセミナーを開催することとしました。つきましては、参加をご希望する方は、平成26年8月18日(月)までに、メール又はFAXにてお申し込み下さい。

平成26年

8月29日(金) 14:00~17:00 (開場13時)

参加費 / 無料

場所 / ホテルニューキャッスル「麗峰の間」

- 主催 / 弘前大学農学生命科学部、食料科学研究所
- 後援 / ひろさき産学官連携フォーラム
- 定員 / 100名    ■対象 / 一般市民、農業関係者、教職員、学生

14:00-14:05	開会挨拶 弘前大学農学生命科学部長 佐々木長市
14:05-15:35	<b>基調講演</b> 「鳥取の梨産業を支える大学の地方型産学官連携のこれまでとこれから」 鳥取大学農学部長 田村文男
15:35-15:45	休憩
15:45-16:15	<b>研究紹介</b> ①「紅の夢」がつなぐ地域と大学～実学研究が目指すリンゴ産業の未来 弘前大学農学生命科学部 松本和浩
16:15-16:45	②赤いリンゴの力～みんなが気になる赤い果肉リンゴの健康機能～ 弘前大学農学生命科学部 前多隼人
16:45-	閉会挨拶 弘前大学理事(社会連携担当) 大河原 隆
17:00-19:00-	交流会 ※会費4,000円は当日会場内にて申し受けます。



お問い合わせ先

弘前大学農学生命科学部総務グループ(担当:三浦)  
弘前市文京町3番地 TEL0172-39-3748 FAX 0172-39-3750  
E-mail jm3748@cc.hirosaki-u.ac.jp

## リンゴ産業をモデルとした大学COC拠点整備事業

—赤い果肉リンゴを核とした地域活性化—

## キックオフセミナー

### 参加申込書

\*参加を希望する方は、必要事項を記入の上、こちらの面をFAXして下さい。

申込期限 / 8月18日(月)

**FAX:0172-39-3750**

弘前大学農学生命科学部総務グループ(担当:三浦) 行

企業名 (団体名)	電話番号	-	-	交流会 17:00~
参加者氏名	役職			参加・不参加
参加者氏名	役職			参加・不参加
参加者氏名	役職			参加・不参加
参加者氏名	役職			参加・不参加

※ご記入いただいた情報は適切に管理し、セミナー運営のために利用いたします。

※希望者多数の場合は先着順とさせていただきますので予めご了承下さい。



#### 講師紹介

#### 田村 文 男 教授

鳥取県米子市出身。1959(昭和34)年生まれ。1984年鳥取大学大学院農学研究科修了。博士(農学)(名古屋大学)。鳥取県の農業改良普及員を経て、1989年鳥取大学採用、助手、講師、助教授を経て2002年フィールドサイエンスセンター(FSC)教授、FSCセンター長等を歴任し、2008年果樹園芸学研究室教授、2012年農学部長に就任し現在に至る。専門分野は園芸学でニホンナシ研究の第一人者。主な研究テーマはニホンナシの芽の自発休眠機構に関する研究、ニホンナシ台木の環境適応性に関する研究、ニホンナシ新品種育成に関する研究。これまでに7品種のニホンナシを品種登録。2011年園芸学会賞受賞。初代園芸学研究室教授菊池秋雄氏の「農学は実学である」との思いを引き継ぎ、産学官の連携の下、研究と地域貢献を両立し、地域の梨産業の発展に貢献している。

今回の講演では、鳥取における梨産業と大学での研究との関わり方の歴史と将来像についてお話いただく。

お問い合わせ先

弘前大学農学生命科学部総務グループ(担当:三浦)

弘前市文京町3番地 TEL0172-39-3748 FAX 0172-39-3750

E-mail jm3748@cc.hirosaki-u.ac.jp